新潟まつりを盛りあげるには

紙上討論

私たちの意見

金市民あげて参加し、楽しむ新潟まつりも、あと一か月足らずに迫りました。前夜を飾る大民謡流しも年ごとにその輪をひろげ、飛び入り参加の市民も増えてきました。

本番のまつり行列も、イキのいい子どもたちのミコシや万代太鼓で一段と盛りあがっています。

この新潟まつりをさらに盛りあげるにはどうすればよいかーをみんなで考えようと、今回は五人の方からご登場願いました。

伝言板の活用はいかが？

斉藤 四郎（無職） 60歳
内野町四区

新潟まつりを盛りあげるために新潟祭りの由来、あるいは、度量衡を、記入した下敷きを子供に、小型ポスターを佐渡汽船、汽車バスの中と、理髪店、美容院、または病院、医院に配布したらどうだろう。小学生向き下敷きの配布重点は、三、四年の社会科に合っているので、わが郷土の行事の一つを意義あらしめると同時に、よろこびのうちに学習と思い出になると考えられる。

配布に当っては地域を定め年次計画にする。煙草に新潟祭り花火の盛況を入れる、マッチも同様しの盛況を入れる、マッチも同様し祭りの気分を育成する。靴べらに新潟祭りと記入しほんとう実賛で、デパート、名店街から販売することも面白い方法と思います。

駅の伝言板は案外人々の眼が注がれる所といわれているので、開催一、三週間前は、連続して利用する。駅の了解はもちろんのこと。祭期間踊りや各商店、企業のダシは大いに精構ですが旧市域にほよく力が入っているが、新市域にもダシのねり歩きを、逐次拡大して欲しいーというちまたの声も念頭に置いて下さい。

昨年の鼓隊行進、実に好評だった。行進の箇所の増加と学校への参加要請のPRを強力に推進することにより祭り若さと美を添えるならば一層、躍動盛況にみちると、思うわけです。

次回は わたしの社会教育

学校教育が終わってからも、人間は「何か」を一生学び続けなければならない、といわれています。そこに社会教育の必要性があるわけです。

市でも、公民館活動などを中心に、趣味と実益をかねた勉強会から、一般教養を学習する各種講習会まで幅広く取り上げ、多数の参加をいただいています。

たしたちの意見」では「わたしの社会教育」と題してご意見を募集します。社会教育の経験をとおした意見あるいは、これからこんなことをしたいーなどの意見をお寄せください。

応募要領 四百字詰め原稿用紙一枚半（六百字程度）にまとめ、住所氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、市広報課「わたしたち社会教育活動に参加している人の意見」係（〒九五一 市内西郵通六）へ、八月十日までにお送りください。無記名の原稿は掲載しません。掲載分には謝礼進呈。

まつりの"テーマ"を募集したら？

野田春美（主婦）
信濃町7 34歳

年を忘れ"まつり"という盛り上げ、そのままゴールへと突入し心地よい疲労感を味わいましょう。

環境は日々変化している。その変化に対応するため、年々のまつりのテーマを、広く市民から募集したらどうだろう。そして、市内を祭一色に塗り替え、遠から人々がそれを口ずさみながら威勢よく挨拶を交わす、又絵画、書道、作文、歌などの作品を通しても意識向上になりましょう。祭を通じて地域社会の繁栄と豊かな家庭づくり、人間性の育成に努めたいものです。

奉仕による楽しいまつりを

浦野 又造（店員）
西堀前一 68歳

新潟まつりも前夜祭の民謡流しは年毎に盛り上り市民にとってはまことに喜ばしいことだが、本番は年毎に盛り上り市民にとっては行列に日常勤務の身である私は毎年奉仕させてもらっているが、これも雇用者の理解があったればこそ。それに引き換え、一般の住吉列は奉仕参加者が不足している。例年のことながら今年も早くもアルバイトによる参加者集めにひと苦労であるから市民あげての祭りには遺憾ながらほど遠い感がしてならない。新潟地震復興と共に復活した、古式豊かな武者町内をねり歩くのは毎列に、職場に勤務されている中高年層の人達から二苦労をお願いしたい。それには参加される方は奉仕に誇りをもってほしい。

今年からは一人のアルバイトもそこ。しかし残暑のきびしい二日間、早くもアルバイトによる参加者集めにひと苦労であるから市民あげての祭りには遺憾ながらほど遠い感がしてならない。新潟地震復興客をかっかりさせているのが実態だ。

"参加"こそ愛郷に通ず

宮田よしのすけ（会社員）
窪田町6 60歳

水郷の都――新潟っ子は年に一度の恒例の川開きを忘れはしない。如何にへそまがりでも新潟まつりのふた太鼓の笛の音に浮き足立つのはわたしばかりではあるまい。流すもの、これを観るものが混然一体祭典を盛り上げる打ち上げ花火は、新潟っ子の心意気を呼び醸まさずにはいないだろう。

わたしにも子供の頃、花笠を負い、紺染めのお祭り衣装で送り出されて御座船の曳綱をワッショイワッショイと威勢よく曳かされた覚えがある。当時、近在の親戚達が、枝豆や畑のものを手土産に泊りがけでまつり見物に来たものだ。

新潟人は気っ風もいいし情の細かい漁師や、船頭の血がうずいている。河岸の魚市場の意気のいいすけっこの兄い達のお祭りずきは大したものだった。

それが時代も事情も変った。親戚同志が一片の紙のように遠くなった。

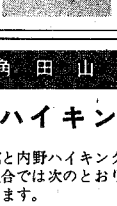
たしかに水の新潟情緒はぴんぼけたかに見える。だが、かけ声一つで踊り出しましたすけっこの兄い達が、ないではない。新潟まつりを見てるだけの祭りにしたのもすけっこの兄い達だったかも知れないのだ。

踊らぬ者には踊りの面白さが分らない。先ず踊らせることである。祭りも踊り上手も十歩百歩である。

これに参加することによって誇りある愛郷の精神をかき立て、新潟の夏まつりは万里にとどろく舟江の賑いになるであろう。

マンネリ化したのだろうか？

亀垣とし子（主婦）
中野山 41歳



子供の頃からなれ親しんで来た新潟まつり、前日から遠方の親せき縁者がとまり込みで訪れ、せまいわが家は足の踏み場もないほどたてこんだものである。

遠く嫁いでからもこの日は汽車にのり子供達をつれてはるばる山車（だし）と花火見物をさせて十年以上になる。

しかし祭の情緒も年々変わってきたように思う。

子供達はいう。"昔より面白味が少くなったね――マンネリ化したのだろうか。山車行列一つみてもその企画の特性をうまくユーモラスに生かしたセンスと工夫に乏しいように思う。

単なる装飾カーだけが長々とつながる行列はたいくつであり無意味だと思う。

やけつくような真夏の暑さもふきとばすような景気の良い万代だいこも皆同じような飾りつけの車と衣装で同じようにかなでて通りすぎるが、もっと面白味とそれぞれ独得のアイディアと魅力を表現できないものだろうか。

まつり行列には誰れでも参加出来る仮装とび入りなどはとても面白いと思う。秋田からきた知人は秋田祭にくらべたら新潟まつりは全々つまらないとなげいていた。

魅力あふれる秋田祭はしらないがまだまだ活気あふれた郷土性豊かな新潟まつりをもり上げる工夫の余地はあるのではないだろうか。

紙上討論 わたしの社会教育

親と子のキャンピング教室

市体育協会では、親子で自然に親しむキャンピング教室を次のとおり開きます。

◆期 日 8月10日～11日
◆場 所 県立青少年研修センターキャンプ場および指定海水浴場（西浦巻町越前浜）
◆対 象 親と子を単位とした4人以内の家族パーティー（子どもは小学5年以上）
◆経 費 大人も小どもも1人1200円
◆申込み 7月31日までに、経費を添えて市教育委員会体育課（県営陸上競技場内 ☎66－8111番）へ。ただし定員50人になりしだい締めきります。

トレセンだより

体力相談

◆相談日 三日・十七日、正午から午後三時。
◆対 象 満十五歳以上の男女で体力や健康について相談を受けたい人。
◆場 所 市トレーニングセンター（陸上競技場内）
◆申 込 ハガキに住所氏名・年齢・性別・職業電話電号・それに相談を受けたい希望の時間を明記して、トレーニングセンターへ。

トレセン入所日

◆入所日 男子―二・五・七・九・十九・二十六・三十日。女子―それ以外の日。
◆時 間 午後四時から午後六時
◆対 象 満十五歳以上の男女
◆練 習 ▼月～金曜日 正午～午後七時三十分 ▼土曜日 正午～午後五時三十分。時間内ないつでも練習できます。
◆申 込 備え付けの申込用紙に記入のうえ、健康診断書を添えて市トレーニングセンターへ。印鑑が必要です。
◆料 金 一か月・大人六百円、高校生百五十円。

角田山 夜間ハイキング

内野公民館と内野ハイキングクラブ・同地区防犯組合では次のとおり夜間ハイキングを開きます。

☆期日 8月3日・4日
☆場所 角田山・角田浜
☆集合時間 8月3日午後9時半
☆集合場所 西地区事務所
☆経費 1人500円（バス・休憩・みそ汁―代）
☆申込み 往復ハガキに住所・氏名・年齢・電話番号―を明記のうえ、内野公民館（西地区事務所内―内野町☎62－3111番）へ。（電話でも可、定員50人）
☆締め切り 7月30日正午
☆事前打合わせ 参加決定者を対象に、8月1日午後7時から西地区事務所で打合わせ会を開きます。

求人・求職のテレフォンサービス

46―1111番

男子向求人―月～土曜午前9時～午後1時 女子向求人―月～金曜 午後1時～午後5時 求人の傾向―土曜午後1時～月曜午前9時と祝祭日 求職情報―月～金曜 午後5時～翌日午前9時